



2022年5月26日発行 会報第1102号

今週のプログラム

(2022年5月26日 第1102回例会)

卓話：いろいろな話

担当：木下 吉宏 元会員

次週のプログラム

(2022年6月2日 第1103回例会)

アセンブリー

【次年度活動計画】

担当：山田 克子 次期会長

第1101回例会 (2022年 5月 19日) の記録

「会長の時間」

水島 洋 会長

皆さん、こんばんは。グエンさん、ようこそ。

さて、5月は「青少年奉仕月間」です。

青少年奉仕といえばローターアクトクラブいわゆる RAC(ラック)を思い起こされる方もおられるかと思います。18歳から30歳までの若者たちが提唱ロータリークラブの支援のもと自分たちで活動を企画し実行しています。

RI 第2660地区には吹田 RAC, 茨木 RAC, 関西大学 RAC 等 25クラブがあり、年に何回か行われる献血活動がよく知られています。

その RAC 会員が次年度から国際ロータリーの正式会員になることが承認されました。

もちろん、RI の人頭分担金を負担したうえで、二つの資格を持つことになります。

会員減少に歯止めをかけたい国際ロータリーの目論見かと思いますが、経緯を見ていきたいと思います。

本日は、山本 友亮会員のイタリア旅行以来の卓話です。

2年にわたって会長・幹事を務めていただいていますので、本当に久しぶりの卓話になりますが、本日はどうぞよろしくお願い致します。



<お客様> な し

<出席報告> 水本 徹 SAA 補助
会員数 (内出席免除会員 1 名) 17 名
本日の出席者数 11 名
(内出席免除会員 0 名)
(内名誉会員 0 名)
本日の出席率 68.75%

<ロータリーソング> 全会員
♪日も風も星も

<本日のピアノ曲> 近藤 美里さん
1. 昊 ~SOLA~
2. プリンセス・ワルツ
3. 思い出の風景

<幹事報告> 山本 友亮 幹事

1. 大阪西ロータリークラブより春の RYLA セミナー協力のお礼状が届きましたのでご報告させていただきます。
2. 次週 5 月 26 日に新旧合同理事会を開催致します。
3. クールビズを実施致します。期間は 5 月～10 月までとします。

<今月のお誕生日> 6 日 小山 富夫 名誉会員 7 日 池田 進 名誉会員 11 日 相原 正雄 会員



《本日のお料理》



1. 鴨肉と豆腐干糸の冷製
2. 干し海老と白菜のスープ
3. もんごいかの甘辛炒め
4. 點心春巻
5. 香港風蒸しハンバーグ
6. 白飯・ザーサイ
7. マンゴープリン

<SAA 報告>

山田 克子 SAA 補助

※スマイルボックス

水島会員 山本 友亮会員、卓話よろしく。

※ラオス基金

藤田会員 山本 友亮会員 卓話宜しく！！

黒川会員 先週の欠席のおわび

※ロータリー財団

水本会員 祝・新築！！おめでとうございます。

※米山記念奨学会

木下会員 山本幹事、卓話楽しみです。

松田会員・山本(雅)会員・山田会員 コメントなし

※メイプル基金

山本(友)会員 本日、卓話です。よろしく御願います。

相原会員 誕生内祝い

黒川会員 来週欠席のおわび

<卓話>

「引っ越し・その他」

山本 友亮 会員

今回の卓話のタイトルは引っ越しその他になっておりますが、実はこの5月5日に引っ越しを致しました。それまでは豊中市の刀根山というところに38年間すんでおりましたが今回吹田市の佐竹台に引っ越ししました。

豊中の住居は昭和38年(約60年前)、山本の両親が土地を購入して家を建てたということです。その後、西暦2001年に私が古い家を建て替えて現在に至っております。ということは現在の家は築21年目でお別れすることになったということになります。高台にありましたので、眺望も良くて淀川花火大会の花火やUSJの年越し花火も見ることができました。また、元旦の初日の出もキレイに見えておりました。

私は幼少の時から現在経営している東淀川区淡路にある工場内の社宅のようなところに住まいしていた時期が長く、小学生の頃にモデルルームで観た吹き抜けの2階建ての一戸建てに住むことが憧れでありました。また、子ども部屋を持つことも憧れでありました。

2001年に家を建て替えた時には吹き抜け2階建て、子ども部屋も子ども3人に合わせて3部屋設けました。長女が中学3年生・長男小学校6年生・次男が小学校5年生という時期でありました。自分の城を、自分の夢を実現できた喜びはひとしおでありました。その後、家内と子ども3人の家族5人での生活が続きました。

ただ、月日が経ち、家を建て替えて10年後には長男が就職のため東京へ行く事になり同居の家族が減りました。その後も長女や次男も仕事の関係で家を離れたり、はたまた良縁に恵まれたりして我が家は家内と私とペットの犬しかいなくなって部屋が余ってしまう状況になってしまいました。物置・納戸ばかりの家になってしまったことも今回引っ越すことになった理由でもあります。その他にも何故、長年住み慣れた豊中の家を変えようと思ったのかをお話致します。

豊中市刀根山はその名の通り小さいですが山の上に位置しており、私の家は阪急電車の豊中駅が最寄り駅になります。上り坂がおおよそ半分くらいあってバスも通っておりません。夏場の暑い時など家から駅までなら約 15 分（下り坂が多いこともあって）で行けるのに駅から家に帰るのに 20 分以上かかってしまう、という立地でありました。

ちなみに大阪モノレールの柴原阪大前駅はそう上り下りもなく徒歩 7 分くらいなのですが梅田に出難いなど使い勝手が悪い欠点がありました。最近ではほとんどありませんが、夜の会合などで飲酒する場合は電車で出かけておりましたが、行きはよいよいで出かけて帰りはフラフラになっておりました。その反動なのかタクシーで帰宅することも多くなり、贅沢を覚えてしまいました。余談ながら少し前の若かった時代には、タクシーは贅沢の極みであり電車の走っている時間にタクシーに乗ることなど、ありえないことだと思っておったのですが・・・。

そんな駅まで遠い、バス停もないということも今回の引っ越しの一因になります。そんなバスも走っていない場所ということでお分かりだと思いますが、近隣の道がせまい、細い。水本会員が何度かゴルフのお迎えで来ていただいたのでよくご存じですが。両親から聞いていた話ではいずれ前の道路が拡張されてバスが走る、と不動産屋さんには言われていたようですが。

次に豊中の家は私有地ばかりで囲まれており一般道に面していないこともあります。家の前の私有地持ち出し道路はアスファルトがめくれてガタガタになっても近所一角の敷件でお金を出し合って修復しなければならぬ、という欠点がありました。ご近所は 5 軒あるのですが、やはりお金が絡む話ですのになかなか難しい問題でもありました。

昨年 3 月にはご近所集まって道のめくれている部分に素人がコンクリートをぬったりもしましたが、はやくもヒビが入ってはがれてきております。知識のない私の勝手な想像では、この土地はこれから先どんどん値下がりしていくと思いだしたことも引っ越しの原因です。

ひょんなことから家内が小さな平屋に引っ越したらとの提案があり、まさかとは思いつつ休日に土地を見に行ったりしました。見に行った土地は千里山西ですとか、津雲台・高野台そして佐竹台などいわゆる高級住宅地ばかりで、また津雲台・高野台・佐竹台などは建蔽率が 40% で平屋を建てるとなると相当な面積の土地がいることになります。犬の散歩を兼ねて津雲台やら高野台を歩いて見て回っておりました。道路幅も広くて幹線道はほぼ左右両サイドに歩道が整備されており、豊中市刀根山辺りとは違いを感じました。また、後々わかったのですが、電柱が住居敷地の中に取り込まれていて道路のゆったり感に違いを感じました。あとは至る所に大きな公園がたくさんあって、その公園も結構キレイを維持されていることも目にとまりました。

千里の丘陵地ですので道のアップダウンはありますが、刀根山に比べて傾斜がゆるくて、アップダウンも長くないこともわかりました。そうこうしているうちにだんだん私も引っ越したいという気持ちになってきて、インターネットなどで土地を探すようになり、不動産屋さんにも話を聞きに行ったりするようになりました。結構な数の物件はあったのですが、やはり丘陵地、道路に対してフラットな土地は少なく建築工事の際に地盤整備費用が高つくような物件が多かったように思います。

駅から10分以内くらいという希望があり高野台に適した物件を見つけたのですが、隣の家が5メートルくらいの擁壁の上に3階建てという状況でやはり地震などの時には怖いということで断念しました。駅から10分以内ではなかなか見つからず、地盤整備も必要ない土地は見つかりませんでした。結局、地盤整備不要の条件だけを優先して佐竹台に決めました。南千里の駅までは少しのアップダウンもあり、所用時間は約20分ではありますがバス停までは5分以内で行けるので決定しました。

次に、ハウスメーカーの選定ですがリクルートが運営されているSUUMOさんに相談に行きました。こちらの要望をヒアリングしてハウスメーカーを5社紹介してくれました。土地の広さや形、また平屋とかの希望をSUUMOさんに伝え5社から見積もりをいただき面談をしました。結局は1社と契約して残り4社はお断りするのですが、この面倒なお断りの作業はSUUMOさんが、やってくれます。

いよいよ必要な金額が出てきましたので資金調達です。今、会社がお付き合いしている池田泉州銀行とりそな銀行に住宅ローンの相談を持ち掛けました。当時は62歳でしたので無理な相談か、とも思っておりましたが案に相違して銀行は乗り気になってくれました。あとはいわゆる団信、団体信用生命保険に入れるかどうかでした。62歳で糖尿病、高血圧の持病もありましたが、主治医のクリニックの先生に住宅ローンを組む意向を話して健康診断書と言いますか、医師の意見書のようなものを書いて下さりました。団信に通るようお願いしたせいか、糖尿病についても「現在、コントロールできている。」というようなことを書いてくれました。

無事に団信も通り、あらためて住宅ローンというものの仕組みを考えてみましたところ、良いローンやなあと思います。事業で借りた・会社で借りた借入金は会社が存在すればどんなことがあっても返済義務は消えませんが、団信付きの住宅ローンは借主に万一があれば返済義務がなくなる、本当に素晴らしい仕組みだなと感じております。

このような経緯で5月5日に引っ越しをして新居での生活が始まっております。また、長年暮らした刀根山の住居は現在中古別件として売りに出しており、少しでも高く買っていただけの方とのご縁を待っている状況です。

